ダイジェスト版

公認会計士の活躍領域の拡大

信州大学

2016年10月6日

公認会計士・監査審査会
会長　廣本　敏郎

本日の講演内容

- 公認会計士の世界
  - ミッション・プロフェッショナル・グローバル
- 会計なくして経済なし
  - 市場経済を支える簿記会計
  - 資本市場の信頼性確保を支える会計監査
- 活躍する公認会計士

公認会計士の世界
３つのキーワード

ミッション

（公認会計士の使命）

公認会計士は、監査及び会計の専門家として、独立した立場において、財務書類その他の財務に関する情報の信頼性を確保することにより、会社等の公正な事業活動、投資者及び債権者の保護等を図り、もって国民経済の健全な発展に寄与することを使命とする。

（『公認会計士法』第１条）

プロフェッショナル

（公認会計士の職責）

　公認会計士は、常に品位を保持し、その知識及び技能の修得に努め、独立した立場において、公正かつ誠実にその業務を行わなければならない。

（『公認会計士法』第１条の２）

会計プロフェッショナルの責任

- 経営者が、「売上を何とかしろ」「利益を何とかしろ」と言うにしても、…余人には計り知れないプレッシャーに曝されている立場を考えれば、言いたくなる気持ちも分からないではありません。多くの場合は、自己規制が働いたり、周囲にいる人々にたしなめられるなどで押し止められるのだろうと思われます。

会計プロフェッショナルの責任（続）

- しかし、実際に会計不正に走ってしまう例もあることを考えると、売上を増やす、利益を増やす、そうした方法を考え出し、経営者に具申し、実行する者がいたことになります。
  - となると、そこには、会計専門家の存在が不可欠となるはずです。社内であれば、経理部長、財務部長などの肩書きの持ち主が多いでしょう。外部監査人たる公認会計士がアドバイスしたということもあったかもしれません。

会計プロフェッショナルの責任（続）

- 会計に携わる人間には、会計人としてのプライドと責任感を持ってほしいと思います。
  - 経営者が何としてでも売上を増やせ、利益を増やせと言ったとしても、経理部長等の立場の方々が、「それはできません」「それは不正行為です」と毅然とした態度で拒否していれば、防ぐことができたケースも少なくないと思うのです（現に、身を挺して歯止めの役割を果たした経理部長等もたくさんいます）。

（浜田康『会計不正』日本経済新聞、2008年、101-102頁）

グローバル

米エンロンの破綻等、諸外国における一連の不正会計事件を契機として、監査監督の重要性が高まり、監査の品質の確保・向上のために世界各国で監査業界から独立した監査監督機関が設立されました。

こうした中、各国の監査監督当局間における協力・連携の場として、監査監督機関国際フォーラム（イフィアールIFIAR：International Forum of Independent Audit Regulators）を定期的に開催することが合意され、平成19年（2007年）3月、審査会の主催により、第1回本会合（加盟22カ国）を東京で開催しました。平成26年（2014年）4月には、14回目の本会合が米国ワシントンDCで開催され、同月末現在で加盟国は50カ国・地域へと拡大しています。（日本からは審査会及び金融庁が参加）。

IFIAR本会合では、6大監査ネットワークの代表や、投資家代表等との対話、監査監督を巡る諸問題についての当局間の意見交換等が行われています。

（平成26年版審査会パンフレットより）

審査会ホームページより
～平成28年4月28日～

第16回監査監督機関国際フォーラム（IFIAR）が下記のとおり開催され、公認会計士・監査審査会からは廣本会長が参加し、最近の監査監督等、各監査監督当局と意見交換を実施しました。

１．日程・開催場所

平成28年４月19日（火）～４月21日（木）　英国・ロンドン

２．参加者

・メンバー（各国・地域の監査監督機関）

アブダビ、アルバニア、オーストラリア、オーストリア、ベルギー、ボツワナ、ブラジル、ブルガリア、カナダ、ケイマン、台湾、クロアチア、チェコ、デンマーク、ドバイ、エジプト、フィンランド、フランス、ドイツ、ジブラルタル、ギリシャ、ハンガリー、インドネシア、アイルランド、イタリア、日本、ジャージー、韓国、リヒテンシュタイン、リトアニア、ルクセンブルク　（続く）

審査会ホームページより（続）

マレーシア、モーリシャス、オランダ、ニュージーランド、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、シンガポール、スロバキア、スロヴェニア、南アフリカ、スペイン、スリランカ、スウェーデン、スイス、タイ、トルコ、英国、米国、ロシア（計51カ国・地域）

内　48の国・地域が本会合に参加

- **オブザーバー**

  バーゼル銀行監督委員会（BCBS）、欧州委員会（EC）、金融安定理事会（FSB）、保険監督者国際機構（IAIS）、証券監督者国際機構（IOSCO）、世界銀行（WB）、公益監視委員会（PIOB）　計７国際機関

３．主な議題

- IFIAR常設事務局の決定
- 投資家・利害関係者で構成されるアドバイザリーグループの新設
- 基準設定主体と公益監視委員会（PIOB）との連携
- 監査法人のグローバルCEO等との監査品質に関する議論、等

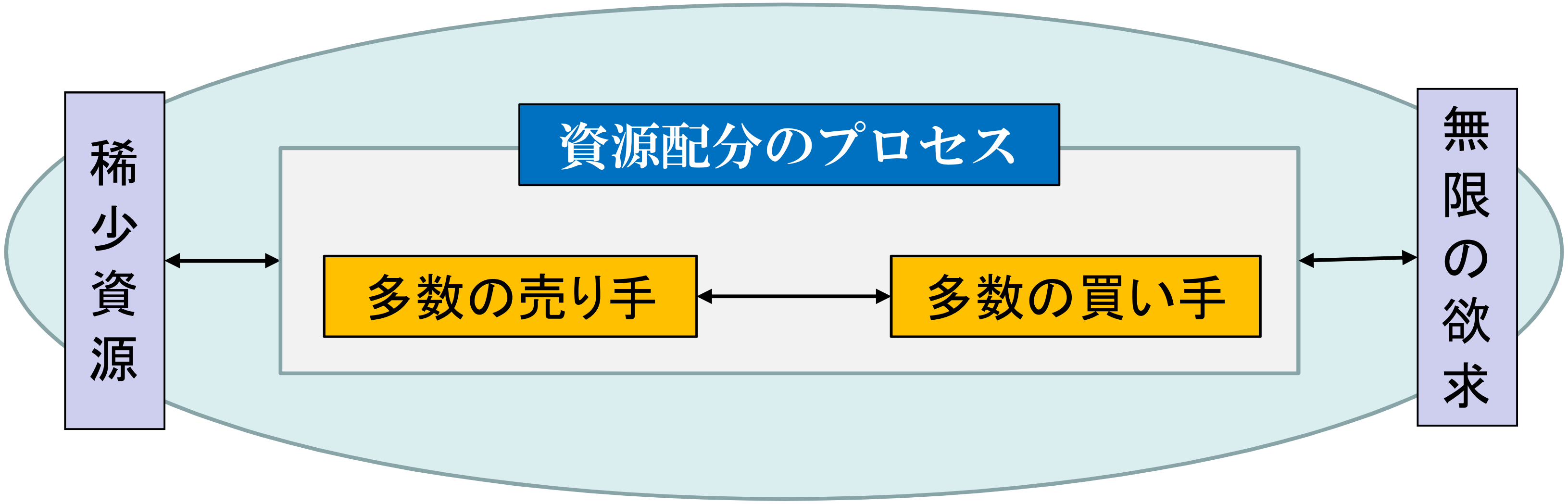
IFIAR常設事務局東京誘致の主な理由

- 資本市場がますますグローバル化する中で、IFIARを通じた国際的な監査品質の向上に貢献するため
  - アジア開発銀行によれば、2050年にはアジア地域が世界GDPの50%を占めると予測されており、国際的な監査品質の向上のためには、中国、インドなど、アジア地域での新規加盟を推進することが課題となっている。
- 東京が国際金融センターとして成長する契機とするため

会計なくして経済なし

市場経済を支える簿記会計

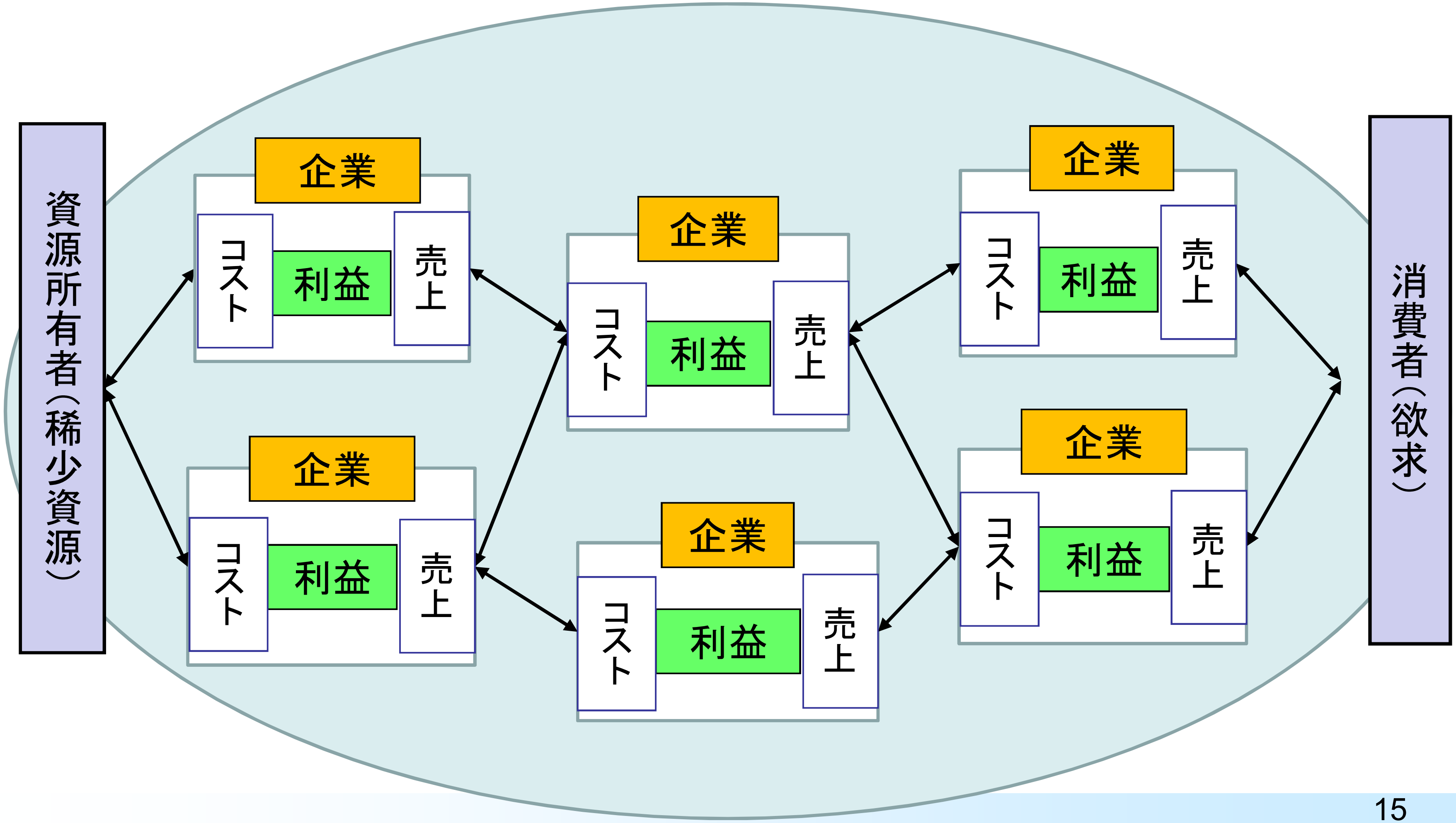
市場経済の制度
―市場参加者の自由競争―



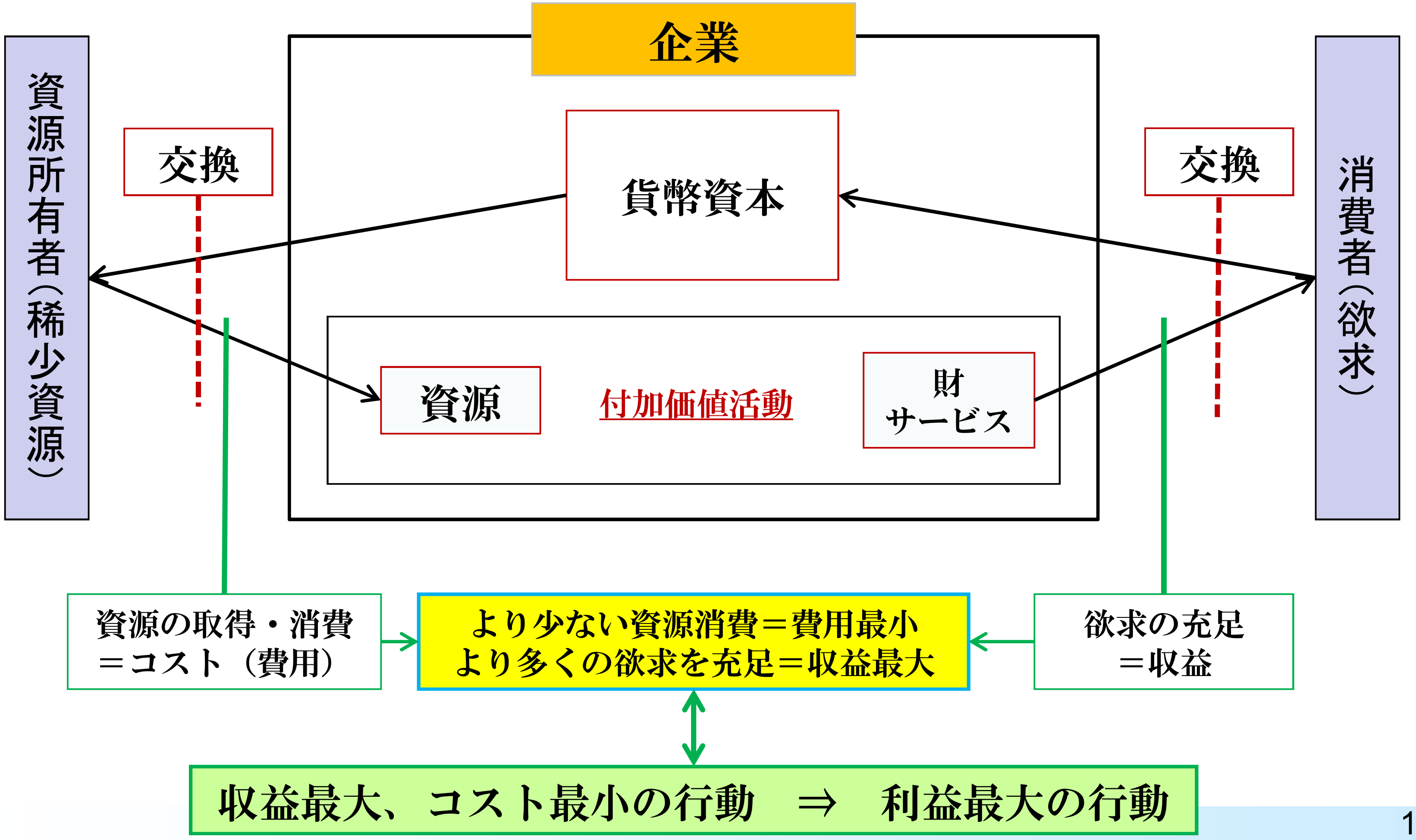
奪い合いでも恣意的な配分でもなく、

売り手と買い手の対等な交換取引による配分

会計なくして経済なし
～企業の行動原理「売上最大、コスト最小」～



会計による企業活動の見える化



会計なくして経済なし

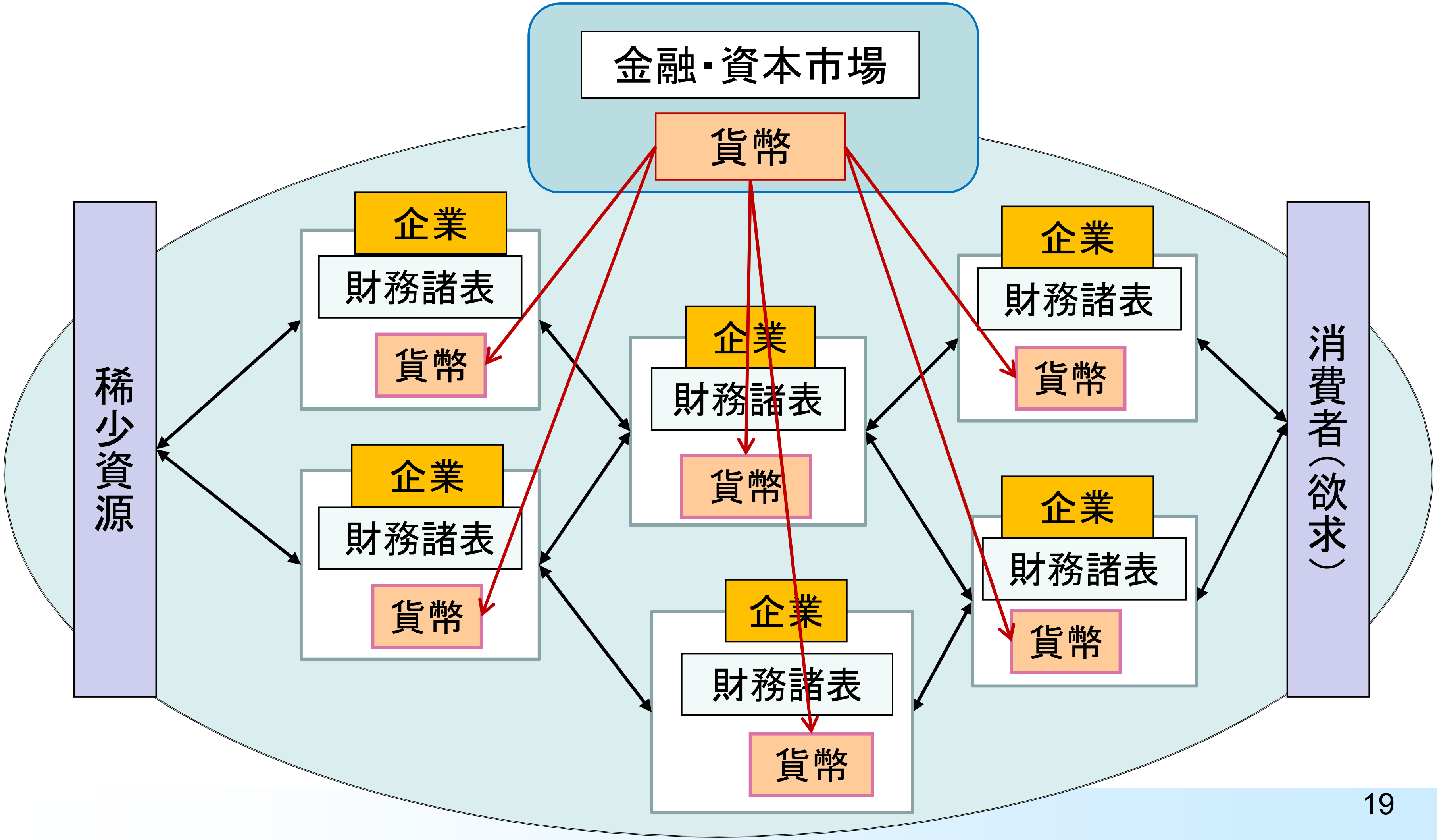
資本市場の信頼性確保を支える会計監査

会計監査の重要性

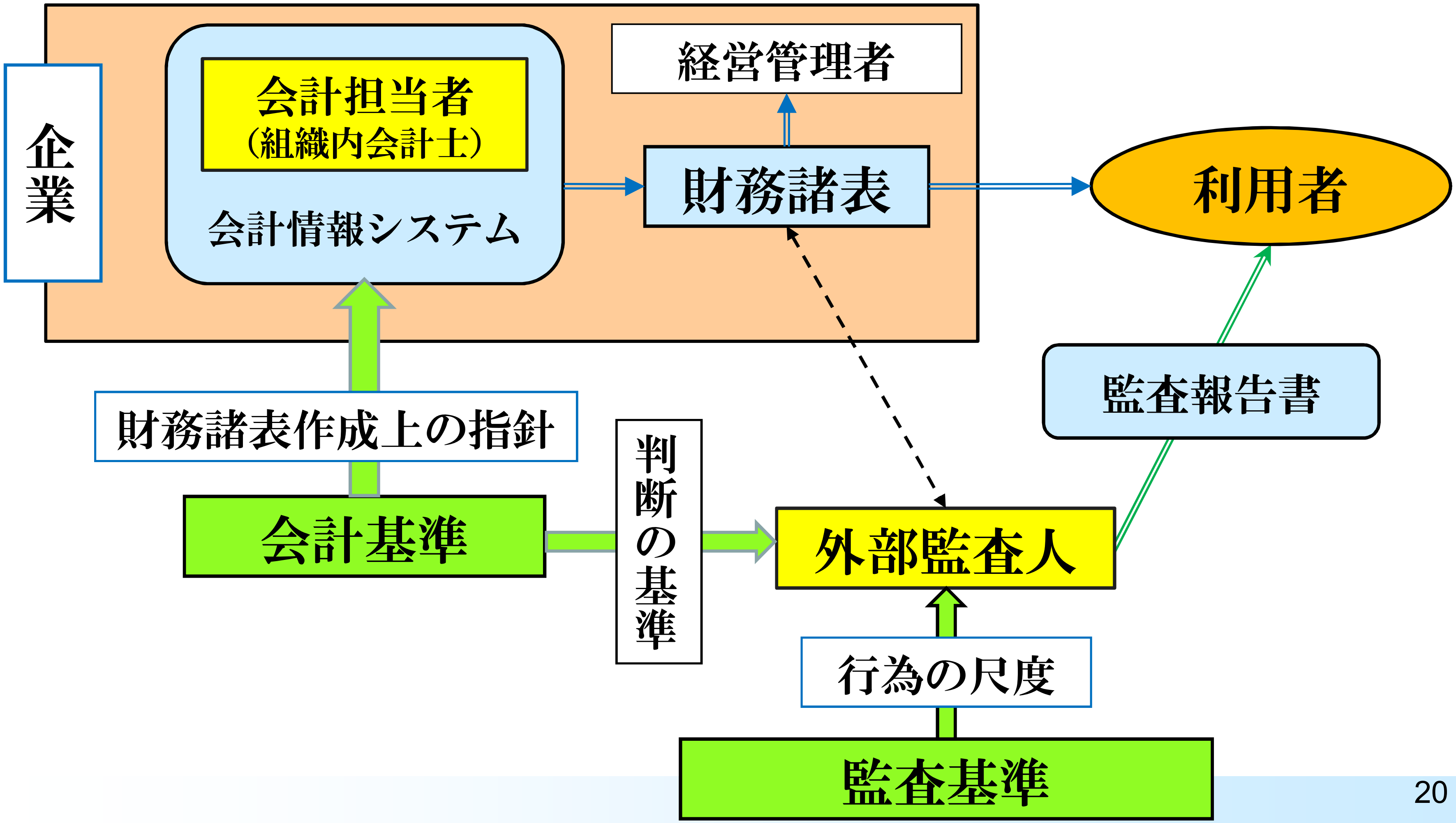
- 資本市場の信頼性を確保し、成長資金が供給されるようにしていくためには、企業が財務情報を適正に開示することが必要である。また、企業が…自らの財務状況を的確に把握し、株主・投資家等と共有することが不可欠である。
  - 会計監査は、このような企業による財務状況の的確な把握と適正な開示を確保し、その適正・円滑な経済活動を支え、これを日本経済の持続的な成長につなげていく前提となる極めて重要なインフラである。

（「会計監査の在り方に関する懇談会」提言、201年3月より）

実体経済を支える金融・資本市場
～国民経済における資金の有効かつ効率的配分～



財務情報の信頼性確保のシステム ～公認会計士の重要性～



活躍する公認会計士

活躍領域／先輩諸氏の実例

Certified Public Accountant
目指せ、公認会計士！
～公認会計士試験にチャレンジしてみませんか～
平成29年試験より
インターネット受付スタート

II. 活躍する先輩からのメッセージ

大杉 泉 さん

平成20年試験合格
スマホアプリ開発企業勤務

社会で働く身近な人を見ている中で、何か一生の武器になるものを身につけたいと思い、高校卒業後から公認会計士を目指すことにしました。

監査法人での勤務を経て、現在はベンチャー企業で取締役監査等委員として勤務しています。会計や監査の知識・経験を生かし、取締役の業務執行を監査することが主な業務ですが、経営の意思決定という会社の根幹部分に関与できることにやりがいを感じています。

今は子育てをしながら仕事をしていますが、公認会計士が活躍できる領域は大変広いので、自身のライフステージに合わせた多様なキャリア選択ができることも魅力だと思います。

笹部 孝 さん

平成２０年試験合格
ヘルスケア企業勤務

将来、会社の経営に携わりたいと考え、学生時代に公認会計士を志しました。

現在は、ヘルスケア企業に勤務し、事業経営を統括する部門にて、様々な投資判断はもちろん、ときにビジネスモデルを自ら作成し、事業の成長をサポートしています。組織再編等の複雑な業務においては会計の専門的な判断が求められます。また、会計のみならず、税務や経営学等の多様な視点での助言が求められることも多く、非常にやりがいを感じています。

様々な分野での活躍について大きな期待を寄せられますが、それと同時に経験できる業務が幅広いことも公認会計士の魅力の一つだと思います。

学生時代より、将来、結婚をして子供が生まれても、仕事を続け、長く社会に出て活躍していたいという思いが強くありました。そこで、人生の選択の幅をひろげるためには、何か資格をもって専門知識を身に着けようと思い、公認会計士という職業に興味を抱き、志すようになりました。

ひとつの企業で働きながら、さまざまな業種、さまざまな規模の会社に接することができるのは公認会計士の仕事の魅力のひとつです。また、多くの人と出会いコミュニケーションをとる中で、信頼を得られたときに、大きな喜びを感じています。

鎌谷 真美 さん

平成21年試験合格
監査法人勤務

経営に近い位置で仕事をしたいと思っていた私は、会計が事業計画や投資判断など経営の重要な場面で必要不可欠なツールであると知り、興味を持ちました。

これまで20社以上のクライアントに関与しました。様々な業界動向や各社の事業戦略、ビジネスモデルを誤りなく回すための仕組み(内部統制)などを間近で見ることができる点に、面白味を感じています。

経験を活かし、コンサルタントや証券アナリスト、ベンチャー企業のCFO等、様々なフィールドで活躍している先輩方もいらっしゃいます。志次第で多様な選択肢が広がっている点も、公認会計士という資格の魅力の一つだと思います。

渡部 豪 さん

平成21年試験合格
監査法人勤務

公認会計士・
試験合格者の
活躍フィールド
金　融　庁
日本公認会計士協会

公認会計士という職業の可能性

- 国際会計士連盟（IFAC）会長は、2015年12月に東京で開催されたシンポジウム「グローバル経済を支える公認会計士の魅力と社会的責務」の基調講演で、次のように語っています。

　公認会計士はグローバルな将来の可能性が素晴らしいキャリアであり、これからの公認会計士には、その将来の可能性に向けて広い視野を持ってほしい。

　公認会計士は、社会からグローバルな視点と対応力が求められている。

公認会計士という職業の可能性（続）

皆さんは、公認会計士として身につける知識や手段を使って、いかに公共の利益に変化をもたらし貢献できるか、大胆な想像力で公認会計士という職業を進化させていってほしい。

そのためにも、次世代のリーダーとして常に正しい行いをすることによって、公認会計士という職業は最高レベルの倫理と行動に支えられているという価値観を守ってほしい。同時に、誠実さ、公正さ、善良さによって、キャリアの基盤を強化していってほしい。

（『会計・監査ジャーナル』2016年3月号、140-141頁）